

社用車運転講習会

～企業リスクマネジメントの観点から人命を守るために！～

10月4日東大阪事業所にて、講習としては初めて「社用車運転講習会」を、内山次長主導で株式会社つばめ急便様のご協力のもと開催しました。業務中の交通事故による損害は、人身や金銭面の損害だけではなく、企業のブランドイメージ失墜などのダメージを与えることになります。また「SNSの普及」により事故だけではなく“運転マナーの悪さ”を発信される事でも企業のイメージダウンに繋がります。企業が社会的責任と信用の維持・向上を図るには、社員一人ひとりの安全運転への意識を高める必要があります。



今回の講義内容は実際につばめ急便様の新入社員の方々の講習にて使用されているプログラムで行っていただきました。コロナ感染症拡大以降、つばめ急便様においてもドライバー経験がない方が入られることも多い傾向にあり、その都度マニュアルを改訂され普段トラックに乗らない方でも分かりやすい内容で進めていただきました。

座学：交通事故を防ぐため、すぐにでも実践可能なことは？

【車両清掃】

車内が汚いと注意散漫になってしまい事故の原因となる。

【2時間に15分の休憩】

2時間以降の運転はパフォーマンスが落ちる。

【社用車を自家用車のように扱う】

会社の車だと認識をするから、その気がなくてもどこかで他人事になってしまう。自家用車のように大切に扱えば不要な事故が減る。



実技：さまざまな場面で意識すること、知識として必要なことは？

【タイヤのチェック方法】

タイヤのホイール部分の音でタイヤの緩みを確認。

音の他にも叩いた際にサビの混じった水が出てくる時は緩んでいるサイン。

【車両の死角・内輪後輪差の確認】

2t車、ハイエースの実際の死角範囲を学ぶ。

死角範囲を確認するための補助ミラーの活用方法等も改めて認識。

【トラックの荷締め方法】

トラックの荷締め方法や、運転中に気をつけていることを学ぶ。

走行中の音を注意することによって緩んできていないか気にしたり、止められる場所の目星を予めつけておき実際に目でも確認するなど。



【事故・故障時の停車方法】

安全地帯の確認、停車させる際の注意点を学び、事故が起こった想定で発煙筒を置くまでの動きを体験。

→後方からの追突が見込まれない場所への駐車

→非常停止機材（三角表示板）を後方へ設置

→発煙筒を点火した後方車両に伝え、ロードサービス等に連絡。



今後、道路で車両事故が起きた時に、箱を置いて発煙筒と三角表示板を設置できそうです！（川崎さん）



社用車を安全に使用するための術を今回の講習にて学ばせて頂きました。教習場で習ったことを実践できているのか、慣れを言い訳にして怠惰になっていないか大阪の社用車が変わるタイミングで各自見直してください。社用車事故ゼロを目指していきましょう！

走行中つばめさんが安全に走行するために心掛けている事を知れて、改めて安全に運転する大切さを学びました！（奥野さん）



島さん
お疲れ様でした!!!



11月で還暦を迎えられる島さん。多くの方々が島さんに様々なことを教えていただき助けていただいたことでしょうか。第2の人生に何がわかる島さんへ感謝の気持ちを。本当にありがとうございました！！！！